

# かながわ畜産まめ知識

## エコフィード

### 「エコフィード」という言葉

エコフィード(ecofeed)とは、人間や自然との調和(ecology)、節約(economy)等を意味するエコ(eco)と、家畜用飼料を意味するフィード(feed)を合わせた造語で、食品循環資源利用飼料を指します。

(社)配合飼料供給安定機構が商標登録をしており、(社)日本科学飼料協会(事務局)による「エコフィード認証制度」(平成21年3月23日運用開始)の基準を満たした飼料のみが、エコフィードの商標と認証マークを利用できます。 参考(社)中央畜産会ホームページ



エコフィード  
認証マーク

### エコフィードの取り組み



エコフィードを  
食べる肉用牛

豆腐粕(おから)に代表されるように、食品製造業からは食品製造副産物が発生します。また給食や外食産業からは、野菜くず等の調理残さや、売れ残り・食べ残し等の残さが発生します。

人間が食べるには不向きでも、これらを捨ててしまうのは非常にもったいないことですし、焼却処分するには多くのエネルギーを必要とし、また二酸化炭素等も排出してしまいます。そこで、飼料に加工し家畜に食べさせることで、資源の有効利用や、飼料用穀物の輸入量を減らし、自給率向上に結びつけようというのが、エコフィードの取り組みです。

※家畜に与えるので、当然、腐敗していないもの・汚染されていないものを原料とします。  
また、きちんと分別がされていることも必要です。

### 神奈川県での取り組み



食品残さは神奈川県でも古くから一部の養豚農家で利用され、そうした経営を残飯養豚と称していましたが、現在、効率的経営が進められる中で、当時の方法で食品残さを家畜に与える事は、技術的・栄養的な課題があります。

そこで神奈川県畜産技術センターでは、飼料化工場等と協力し、エコフィードを豚・肉牛・鶏の飼料として活用する方法を研究しています。

詳しくは、県畜産技術センターのホームページをご覧ください(畜産技術センターニュース第6~8号など)。



液状で発酵させた  
エコフィードを  
食べる肉豚

※横浜農協食品循環型「はまぽーく」出荷グループでは、市内の食品リサイクル(学校給食・事業系食品等)でできた飼料と配合飼料を混合給与し、横浜の生産者が育て、日本食肉格付協会の評価を得た、肉質良好な豚肉として「はまぽーく」を提供しています。

平成20年4月には、かながわブランドに登録されました。

詳しくはJA横浜ホームページ・農畜産物から「はまぽーく」をご覧ください。 <http://www.jakanagawa.gr.jp/yokohama/s001.htm>

